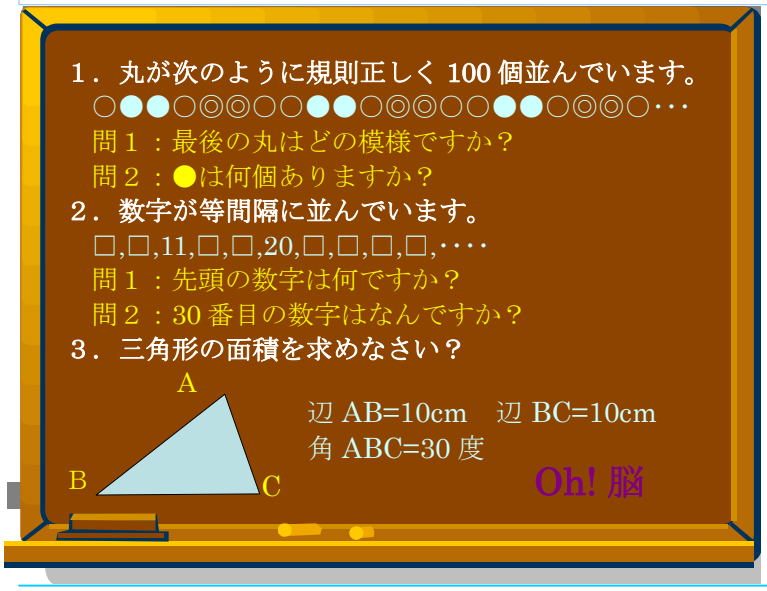
ひとくち英会話

2009 年 7 月、AAMLS 学会が開催されます。日本開催のため参加しやすく、皆様が海外の技師の方々とコミュニケーションを持つ良い機会です。英語のトレーニングを始めるにもちょうど良いタイミングです。国際学会参加に役立つ表現を勉強しましょう。今回は、話しのきっかけをつかむ表現です。

【小松京子】

❖	何かお手伝いしましょうか？
⇒	Can I help you?
❖	お話しさせていただいて宜しいでしょうか？
⇒	May I talk with you?
❖	お時間ありますか？
⇒	Do you have some time? Do you have a few minutes to spare?
❖	いま、お忙しいですか？
⇒	Are you busy right now? Do you need some help?
❖	お先にどうぞ。
⇒	You go ahead.
❖	この席、どなたかいらっしゃいますか？
⇒	Is this seat taken? Is anyone sitting here?
❖	日本は初めてですか？
⇒	Is this your first time in Japan? （Are you new here?という表現も使えます。）
❖	今何時でしょうか？
⇒	Do you have the time? （Do you have time? は、お暇ですか？となります。）
❖	どうぞお座りください。
⇒	Why don't you have a seat? Take a seat, please.
❖	席をつめていただけませんか？
⇒	Can you make room for me?
❖	ゆっくりどうぞ。
⇒	Take your time.
❖	こちらへどうぞ。
⇒	Please come this way.



地区短信　近畿地区

「技師会に求めるもの」

奈良県臨床衛生検査技師会では 6 月 3 日に第 24 回奈良県医学検査学会を開催し、そのプログラムの中で、技師会活動について今までの会員の動向や会員の意見を聞き、今後の技師会運営を考えるため、公益法人活動、学術活動、その他総務的活動について奈臨技会員にアンケートを行い「技師会に求めるもの」というテーマでフォーラムを企画しました。

公益法人活動については、昨年、公益法人制度が改革され、数年内に我々技師会も法人としての方向を決める必要があり、これを踏まえて奈臨技の社団法人設立の経緯を元奈臨技会長の山中享氏に説明をしていただき、公益法人制度改革の概要と日臨技の動向の解説を日臨技常務理事の前川芳明氏にお願いしました。

アンケートでは 55%の会員から解答があり、学術活動については、技術職の団体であることを反映し、研修会参加、活動評価に対して 80%の会員から関心を持った回答を寄せていただきました。公益法人活動への関わりと活動評価は 20%台と学術活動の評価に比べ関心は低いものとなりました。今回の学会参加者数はアンケート結果を反映したものとなり、学術的内容が中心であった前回、前々回の学会参加者(それぞれ 120 名以上)と比べ少ない参加者数（84 名）でした。今後も定期的に技師会活動とくに公益法人活動を考える機会を企画する必要があると思いました。

【中山亮一】

ICT 戦略委員会答申

医学検査における ICT の利活用に関する検討＜提言＞　まとまる！

本年度新たに設置された“ICT 戦略委員会”の「医学検査における ICT の利活用に関する検討＜提言＞」がまとまり、答申された。

答申内容は、ユビキタスネットワーク社会の到来による“日臨技 IGT 戦略の構築について”として述べられている。

“医療分野の ICT 政策と課題”にはじまり、“会員向けに関する現状と課題”、“国民・患者向けの課題”、“イノベーション 25 の展開”と続いているが、この提言により日臨技の認定事業や教育研修事業の展開にも応用され、事業の更なる発展が望まれる。

今年度の特別事業としての「日臨技 FORUM（8 地区 joint）」の構想もまとまったが、この提言に基づくものであり、事業成果も期待できるものであった。